

事業番号	386
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民センター施設管理事業							担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	東部市民センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		3 文化芸術団体などの連携拠点を整備する					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	5	中	3	
	根拠法令・個別計画											
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	この施設を利用する市民が使いやすい施設にする。										
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務、設備保守管理業務、舞台管理業務、その他管理業務の4項目でそれぞれ外部業者に業務委託を行うとともに、軽微な修繕や玄関マットやファクシミリの借上げなどを行っている。 ・担当職員は、建物・設備に関する業務委託や法定点検についての契約から支払いまでの事務や、コインコピー、蛍光管の取替、駐輪場の整理といったことまで行っている。 ・軽微な修繕として移動観覧席修繕(1,817千円)他17件の修理を実施した。 <p>○24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品、光熱水費(12,180千円) 修繕料(4,277千円) 施設管理、舞台管理等委託料(34,524千円) 借上料他(446千円) 【その他財源の内訳】 ・公民館使用料(4,046件:5,174千円) <p>○25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品、光熱水費(12,830千円)修繕料(4,224千円) 施設管理、舞台管理等委託料(38,954千円)借上料他(800千円) 【その他財源の内訳】 ・公民館使用料(5,150千円) 										
	受益者負担	無										

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	45,041	50,199	51,427	56,808	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,665	2,665	2,665	2,665
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	47,706	52,864	54,092	59,473
	対前年比		%		110.8	102.3	109.9	
財源	一般財源	千円	43,149	47,731	48,918	54,323		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	4,557	5,133	5,174	5,150		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	清掃及び警備等日数 (開館日)	日	目標	353	361	361
実績				353	361	361	
昇降機保守点検		回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	
舞台照明、舞台音響及 び舞台機構点検		回	目標	8	8	8	8
			実績	8	8	8	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
施設利用者数	人	目標	140,000	140,000	140,000	140,000	
		実績	101,798	116,582	103,793		
施設管理に伴う修理	件	目標	10	10	10	10	
		実績	14	13	18		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	保守点検や修繕等を実施していることにより、市民が安心、安全に利用できる施設の維持が図られている。	
		事業実施における課題	施設の老朽化に伴い緊急を要する修繕が多くなった。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民が安心、安全に利用できる施設の維持管理ができなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	雨漏りに対する屋根改修工法の検討を委託し、費用、効果共に最も良い工法を考え、施設の適切な維持管理に努める。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	各種設備の保守点検については、業務委託により効率的に実施している。		
	26年度以降の改善案	施設の老朽化に伴い、計画的に修繕を進めると共に、引き続き適切な施設の維持管理に努め、市民が安心、安全に利用できる施設にしていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
		維持